

参考文献等

【環境影響評価に関する技術的な動向（生活環境）】

○東京会場

塩田 正純 SCCRI 静穏創造研究所（元工学院大学 工学部 教授）

教科名：環境影響評価に関する技術的な動向～健康・生活環境分野～ 騒音・（超）低周波音・振動

引用文献・参考文献：

1. 地盤環境振動研究会(2013) , 「地盤環境振動対策技術マニュアル」(一財) 災害科学研究所
2. 国土技術政策総合研究所(2014), 「国土技術政策総合研究所資料 No. 806 道路交通騒音対策の参考資料(平成26年8月)」, 国土交通省
3. 消費者安全調査委員会(2014), 「家庭用ヒートポンプ低周波音・振動 平成26年12月19日」, 消費者庁
4. 国土技術政策総合研究所(2013), 「国土技術政策総合研究所資料 No. 714/土木研究所資料 No. 4254 道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」, 国土交通省
5. 環境省 水・大気環境局(2013), 「航空機騒音測定・評価方法 講習会テキスト」
6. (一社) 日本環境アセスメント協会(2014), 「平成25年度 環境影響評価技術手法調査業務(健康・生活環境分野) 報告書」
7. 環境省(2015), 「風力発電施設のリプレースにおける環境影響評価手法の合理化に関する検討報告書」
8. 塩田 正純(1986), 「公害振動の予測手法」 井上書院
9. (社) 地盤工学会(2009), 「地盤工学・実務シリーズ26: 建設工事における環境保全技術」
10. (一社) 日本音響学会(2014), “小特集—道路交通騒音の予測モデル—ASJRTN__Model 2013”, 日本音響学会誌 70(4) 172-230
11. 環境省水・大気環境局(2011), 「地方公共団体担当者のための建設作業振動対策の手引き 平成23年度」